

新型コロナウイルス感染防止のための教職員の行動指針

【一般】

1. 毎朝、検温をして体調管理に気を付ける。
2. 体温 37.5 度以上、又は発熱や咳、倦怠感など風邪のような症状がある場合、出勤を控える。(有給休暇又は特別休暇扱い)
3. 外出時など、できるだけ人混みを避ける。体調が悪い時は外出しない。
4. 手洗い(石けん)、うがい、手指のアルコール消毒などの感染対策をこまめに行う。
5. 通勤時(特にスクールバス)はマスクを着用する。
6. いわゆる「3密」を避ける。
 - 1) 風通しが悪い場所に複数で長時間集まらない。【密閉】
 - 2) 座席時は周りの人と間隔を空けて座る。【密集】
 - 3) 会話や発声のときには横並びになることを心がける。(できるだけ向かい合わないようにする。)【密接】
7. 学内食堂、レストランでの食事は 20 分ルールを守る。
8. 集会や懇親会、不特定多数が集まるイベント等への参加は自粛する。

【授業】

1. 原則、マスクを着用する。
2. 授業中、学生の健康状態に注意する。健康状態に問題がある学生がいた場合、保健室に連絡する。(TEL0561-75-2545) 又は学生に帰宅を促す。
3. 授業中、換気を行う。(30 分ごとに 10 分程度、2 方向の窓)
4. 授業終了後、手洗い(石けん)、うがい等を行う。

【学生との面談】

1. 研究室での面談はできるだけ避け、空いている教室や風通しの良いスペースを利用して行い、15 分以内を心掛ける。
2. 当分の間、オフィスアワーは実施しない。
3. Google Meet などビデオ会議ツールを利用する。

【窓口業務】

1. マスクを着用する。
2. 来訪者とできるだけ距離をとり(2M程度)、3分以内を心掛ける。
3. 時間を要する面談は、google-meet などコミュニケーションツールを利用する。

2020. 4. 6
名古屋外国語大学